

進路だより

市立札幌啓北商業高校
進路指導部
令和6年2月2日
第5号

大学・短大の推薦・総合型選抜等での進学状況

大学入学共通テストが終わり、私立大学の一般入試、国公立大学の個別試験へと続きます。3年生はこの家庭学習期間を利用して、最後の力を振り絞って合格を勝ち取ってください。今回は就職先決定者の話でしたが、今回は大学・短大の推薦・総合型選抜入試の合格者の声をお届けします。1, 2年生の皆さんはぜひ参考にしてみてください。

「旭川市立大学 経済学部 経営経済学科」総合型選抜合格

私は、総合型選抜で旭川市立大学に合格することができました。この大学を志望したきっかけは旭川市立大学の「地域に根ざす大学」という教育理念が、私が大学で学びたいことに合っていたことと家庭の経済的状況から私立大学に進学することが難しかった私にとって国公立大学であるため学費面で魅力的に感じたことからこの大学への進学を決めました。しかし、私は勉強ができる方ではないので学校の成績と模試の成績があまり上がらず、進学を諦めて就職に切り替えようと思っていた時期もありました。ですが、私は部活で簿記部に所属していて日商簿記2級などといった資格取得に加え、日々のボランティア活動に力を入れて取り組んでいたこともあり、進学できる可能性があるかもしれないと考えて総合型選抜で受験することにしました。

本格的に受験勉強を始めたのは高校3年生の夏休み明けです。それまで小論文の模試を受けたりはしていましたが本格的に勉強に取り掛かる時期がとても遅かったので担任の先生や進路相談の先生に沢山の迷惑を掛けてしまったことを今でも鮮明に覚えています。なので、皆さんは高校2年生までに進路先を決め、高校3年生の始めから受験勉強に取り掛かることを強く勧めます。私が志望していた旭川市立大学では1次試験で集団討論と書類審査、2次試験で小論文と面接があったので放課後などに先生と面接練習を繰り返したり、現代文の先生に小論文の添削を繰り返していただくことで受験への対策をしました。小論文は、一つの話題について1000字近く書かなければいけないのでとにかく文字数を書けるようになる練習をした方が良いです。面接に関しては、人とのコミュニケーション能力が重視されます。私のように人と会話するのが苦手な人は苦勞するかもしれませんが繰り返し練習して話すことに慣れていけば心配は要らないと思います。

最後に、1つアドバイスをするならば、学校での平均評定は4.0以上を維持しましょう。どの大学に進学するにしても推薦受験であれば平均評定は必ず見られます。特に国公立大学の推薦入試は平均評定が4.0以上ないと出願すらできない大学がほとんどです。また、私立大学を受験するとしても平均評定を4.0以上取っておけばかなり有利に働きます。

これを読んでいる皆さんが希望の進路に進めることを応援しています。頑張ってください！

大学・短大推薦・総合型選抜合格者数 (1月末現在)

旭川市立大学(2) 釧路公立大学(1) 札幌学院大学(4) 札幌国際大学(2) 札幌大学(9)
札幌大谷大学(1) 札幌保健医療大学(1) 東海大学(1) 藤女子大学(1)
日本医療大学(3) 北海学園大学(8) 北海商科大学(4) 北海道医療大学(2)
北海道科学大学(2) 北海道情報大学(2) 北星学園大学(8) 北翔大学(2)
北海道武蔵女子大学(4) 酪農学園大学(1) 千葉商科大学(2)
千葉工業大学(1) 目白大学(1) 光塩学園女子短期大学(3)
札幌大谷大学短期大学(3) 北海道武蔵女子短期大学(4)



「北海道情報大学 経営情報学部 システム情報学科」指定校推薦合格

私は高校 3 年生の進路決定間近に、北海道情報大学に進学することを決めました。私は、将来の夢や興味を持った分野がなく、どの大学へ進学するのか悩んでいました。ですが、私には好きなものがありました。それはアニメやバーチャルの世界です。私は、小さい頃から兄姉の影響でアニメやインターネットを見ていたからです。そこから、単純な理由ですがもっと好きなことについて知り、実際に関わってみたいと思うようになりました。そして、私は情報コースを選択した際、情報を学ぶことが楽しかったとともに、もっと知識をつけたいと思いました。上記の理由から、私は、北海道情報大学のシステム情報学科へ進学を決めました。

北海道情報大学の学校推薦型の入試形態は、志望理由書と面接がありました。志望理由書では、なぜその大学でなくてはならないのかということ伝えるのが大事だと思い、情報専門学校やほかの大学ではなぜだめなのかという他の学校にはない惹かれた点を記入しました。また、面接では、臨機応変に対応をしなければなりません。事前の練習でテンプレートを作ることも大事ですが、本番にどのような質問を問われるのか分からないので要点をまとめておき、それを文章にまとめられる力が必要だと思います。また、どの進路に進むにしても、日々の学習や学校生活は大事です。指定校推薦のためには、評定平均が重要です。さらに生徒会活動や委員会、部活動、ボランティア活動なども面接での話のポイントになるので、積極的に取り組んだ方が良いと思います。

どの進路を選択しても、準備に取り掛かることに早すぎるということはないです。1年生のうちからオープンキャンパスへ行っている人もいますし、何より行動をしておいて損はないと思います。自分の選択したことに後悔することのないように全力で取り組んで欲しいです。そのための努力も惜しまないでください。あなたの望む未来が実現しますよう応援しています。ここまで読んでくれてありがとうございます。頑張ってください！

「札幌大谷大学短期大学部 保育科」指定校推薦合格

私は高校一年生の時から「保育士資格」が取得できる大学か短期大学への進学を考えていました。高校二年生の夏に初めて行ったオープンキャンパスが札幌大谷大学短期大学部の保育科でした。その説明の中で、この学校には専攻科という他の短期大学にはない特徴がありました。それは、二年間で四年間分の保育について勉強できるというものでした。その説明を受けて興味を持ち、インターネットやパンフレットを使ってくわしく調べるようになり、高校三年生の夏にもう一度オープンキャンパスへ行き、札幌大谷大学短期大学部への進学を決めました。

最初は公募制のために小論文と面接に取り組みました。小論文はできるだけ沢山書いたほうが良いので、学校で受けることができる小論文トレーニングなどを全て受けました。今年になってから指定校型推薦枠が使えるようになったので、面接と口頭試問に取り組みました。質問内容は進路室の先輩方が残した受験報告書を見てノートに写し、自分がその質問に対してどんな回答をするかを書き出し、それを何度も練習すると良いと思います。当日、自分が練習してない質問が来るかもしれませんが、落ち着いて返事を、元気に笑顔で話せば大丈夫です。たとえ不自然な返答になっても優しい面接官が多いのでしっかり聞いてくれます。志望理由書の提出がある人はそれをコピーしておいた方が良いでしょう。そこに書かれているものからの質問が多いので、当日の控え室で読んでおくのがおすすめです！面接はとても緊張しますが、自分なりの言葉で自信を持って挑んでください。

それから進学に大切なのは高校の成績です。もちろん考査や検定も大事ですが、それに加えて学校の部活動や行事の内容がとても重要です。例えば、部活動に入り大会で賞を得たり、学校祭で責任者を務めたり、他にもHR会長を務めるなど学校でやってきたことを面接の時に話せるように何か一つでも自分の強みを持っていた方が良いでしょう。推薦で進学を希望する人は、日頃から努力の積み重ねをしていくのが大切です。将来の夢が明確でなくても一つ一つ目標を達成していけばきっといつかやりたいものが見つかります。皆さん受験は大変ですが、自分を信じて頑張ってください！応援しています。